

お茶の水女子大学に 「美と科学」の寄附研究部門 開設

>>>2018. 04. 04

株式会社アルビオン(東京・中央区、小林章一代表取締役社長)は、2018年4月1日より、国立大学法人お茶の水女子大学(東京・文京区、室伏きみ子学長)内に「美と科学・アルビオン寄附研究部門」を開設いたしました。あわせて、4月3日に調印式を行ないましたのでお知らせいたします。

アルビオンでは、2012年に同大学の室伏きみ子学長(当時教授)との共同研究により開発した美容液を発売したほか、2013年から2018年3月まで、他社と合同で「ヒューマンウェルフェアサイエンス研究教育寄附研究部門」を開設するなど、これまでも産学連携による活動を積極的に行なってきました。これらの研究・活動をより発展させていくために、このたび新たに「美と科学・アルビオン寄附研究部門」を開設する運びとなりました。

本寄附研究部門は、化粧品や食品・医療品の研究・開発を手がかりとして、人が一生を通じて健康で心豊かに暮らすための研究と教育を実施いたします。具体的には、健康科学に基づいた化粧品や食品・医薬品の研究・開発を基本として、人々が美しく健康な生活を維持し、生活の質を向上させるために必要な技術開発の考え方や知識・技術・社会制度などを研究・調査します。また、将来を見通した学術の創成や、新規技術の創出、また、産学官連携の下で新たなイノベーションの実現を目指す人材を育成いたします。



2018年4月3日の調印式の様子

左:お茶の水女子大学長 室伏きみ子氏
右:当社代表取締役社長 小林章一

アルビオンでは、今後も産学連携による研究活動を強化し、基礎研究を通じて世の中に貢献できる新しい価値を創造するとともに、その研究成果を商品として実現化することを目指してまいります。

寄附研究部門の概要

- ・部門名 美と科学・アルビオン寄附研究部門
- ・設置場所 お茶の水女子大学 お茶大アカデミック・プロダクション
- ・設置期間 2018年4月1日～2021年3月31日
- ・運営体制 お茶の水女子大学の役員会直属の産学官連携推進組織である「お茶大アカデミック・プロダクション」に属し、同学の藤原葉子教授の指導のもと研究を推進。アルビオンからは研究員2名が参加。